

令和元年度 温室効果ガス排出量の公表について

1. 市の事業活動全体に伴う温室効果ガス排出量

【市の事業活動全体に伴う温室効果ガス排出量】

16, 552 t-CO₂ (令和元年度実績)

【内訳】

①温室効果ガスの種類別排出量

温室効果ガスの種類	単位	基準年度 (平成28年度)	令和元年度
二酸化炭素(CO ₂)	kg-CO ₂ 換算	13,940,473	16,172,648
メタン(CH ₄)	kg-CO ₂ 換算	32,777	24,600
一酸化二窒素(N ₂ O)	kg-CO ₂ 換算	319,980	352,473
フロン類(HFC)	kg-CO ₂ 換算	2,516	2,418
温室効果ガスの合計	kg-CO ₂ 換算	14,295,745	16,552,139

②部門別の温室効果ガス排出量

		平成28年度 合計(kg-CO ₂)	令和元年度 合計(kg-CO ₂)
1	市長部局 (環境部、上下水道部除く)	1,001,035	1,165,648
2	教育委員会部局	883,187	726,096
3	環境部	11,603,276	13,997,620
4	上下水道部	808,246	662,775
	合計排出量(kg-CO ₂)	14,295,745	16,552,139
	合計排出量(t-CO ₂)	14,296	16,552

※端数処理により、合計が一致しないことがあります。

2. 削減目標の達成度

【削減目標】

温室効果ガスの排出量を令和4年度(2022年度)までに、

3%削減する。【平成28年度比(2016年度比)】

	基準年度	実施期間				
	平成28年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
t-CO2	7,307	7,658	8,499			
平成28年度比増減量		+351	+1,192			
		4.8%増加	16.3%増加			
						目標
						7,088
						-219
						3%削減

※計画に基づき、一般廃棄物の焼却等に伴う温室効果ガス排出量(平成28年度:6,989t-CO2、平成30年度:7,505t-CO2、令和元年度:8,053t-CO2)については、対象外とします。

【令和元年度の温室効果ガス排出量】

①市の事業活動全体に伴う温室効果ガス排出量:16,552t-CO2

②一般廃棄物の焼却等の温室効果ガス排出量 : 8,053t-CO2

$$\text{①}-\text{②}=16,552-8,053=8,499\text{t-CO}_2$$

○温室効果ガス排出量増加の理由

令和元年度の温室効果ガス排出量が増加した主な理由として、一般廃棄物の焼却等の処理量が、令和元年度は平成28年度と比較して、15.2%増加している。それに伴い、環境部の灯油使用量と電気使用量が増加している。

経済状況に応じて、ごみ焼却量の増減があり、それに伴って環境部のエネルギー使用量も増減する。引き続き、省エネルギー、節電等に努めてエネルギー効率の良いごみ処理を行う。